

学校における 食物アレルギーについて

大阪府教育庁 教育振興室
保健体育課 保健・給食グループ



今日お話する内容

1. 食物アレルギーとは
2. 学校における食物アレルギー対応ガイドラインについて



食物アレルギーの定義

「**食物**によって引き起こされる**抗原特異的な**
免疫学的機序を介して**生体**にとって
不利益な症状が惹起される現象」

出典：日本小児アレルギー学会食物アレルギー診療ガイドライン2021



つまり…

本来人間にとって
有益な反応である免疫反応が、
逆に体にとって好ましくない反応を
引き起こすこと

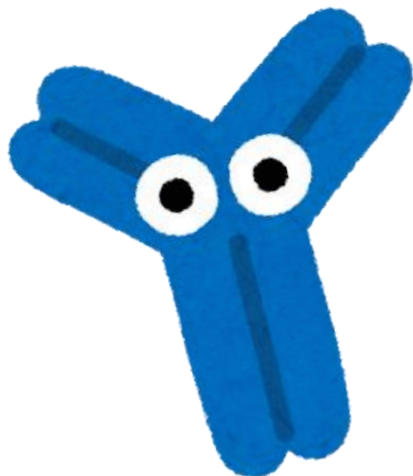


最も多いアレルギー反応

花粉や食べ物など本来無害なもの
（これらがアレルギーの原因になる
ときアレルゲンと呼ぶ）に対して
IgE抗体を作る



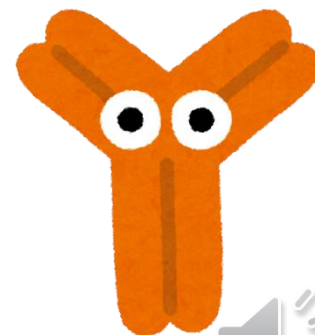
牛乳の抗体は牛乳だけに反応する



牛乳**特異的**IgE抗体



※卵や小麦の抗体は別の形をしているため
牛乳アレルギーの人は卵や小麦では症状を
起こさない

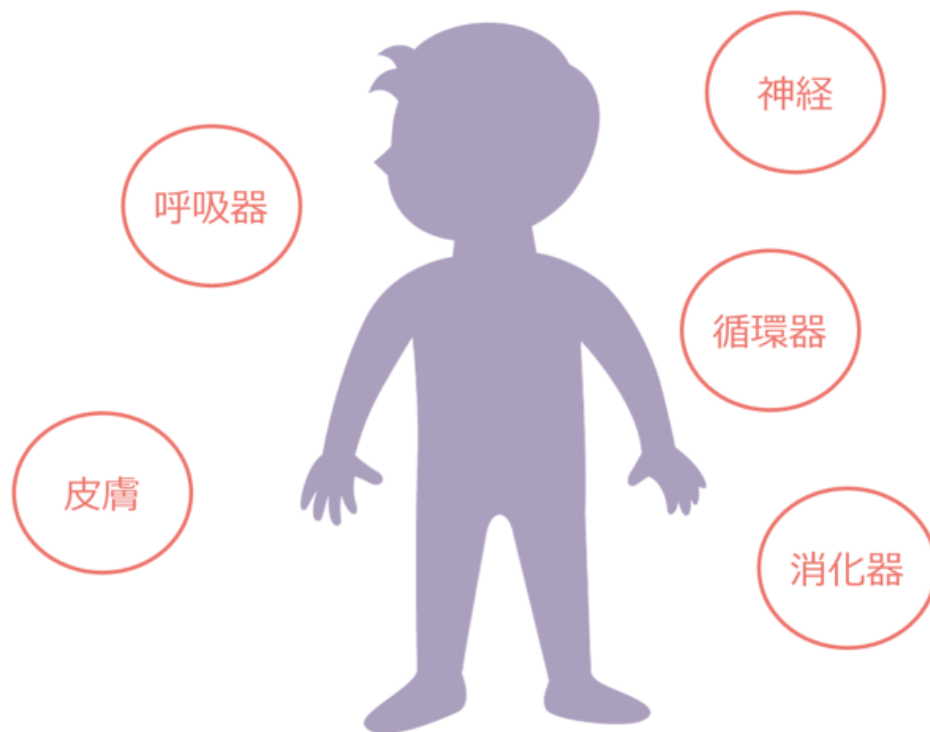


卵**特異的**IgE抗体



食物アレルギーによって起こる症状

- さまざまな臓器に症状が生じます
- 症状は軽症・中等症・重症の3段階で評価します



重症

中等症

軽症

全身 の症状

- ぐったり
- 意識もうろう
- 尿や便をもらす
- 脈が触れにくいまたは不規則
- 唇や爪が青白い

呼吸器 の症状

- のどや胸がしめ付けられる
- 声がかすれる
- 犬が吠えるような咳
- 息がしにくい
- 連続する強い咳き込み
- ゼーゼーする呼吸

- 数回の軽い咳

消化器 の症状

- 連続する強い(我慢できない)
お腹の痛み
- 繰り返し吐き続ける

- 中程度のお腹の痛み
- 1～2回の嘔吐
- 1～2回の下痢

- 軽い(我慢できる)お腹の痛み
- 吐き気

目・口 鼻・顔 の症状

- 顔全体の腫れ
- まぶたの腫れ

- 目のかゆみ、充血
- 口の中の違和感、唇の腫れ
- くしゃみ、鼻水、鼻づまり

皮膚の 症状

上記の症状が
1つでもあてはまる場合

- 強いかゆみ
- 全身に広がるじんましん
- 全身が真っ赤

- 軽度のかゆみ
- 数個のじんましん
- 部分的な赤み

1つでもあてはまる場合

1つでもあてはまる場合



こんな症状があれば、 食物アレルギーを疑ってください

- 皮膚症状：赤み、かゆみ、むくみ、じんましん
- 粘膜症状：まぶたがはれる、くしゃみ、鼻水
鼻がつまる、口の中や喉の違和感
喉のかゆみ・イガイガ感
- 消化器症状：気持ち悪さ、腹痛、吐く、下痢
- 呼吸器症状：喉が締めつけられる感じ
声のかすれ、せき込み、ゼーゼー
呼吸がしづらい

最悪の場合、死に至ることも



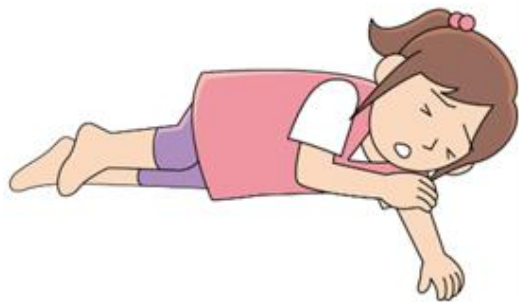
初期対応に関するクイズ①

鶏卵アレルギーと診断されている女兒。
おやつを食べたあとに「気持ちが悪い」といい出しました。お菓자에記載されている成分表を確認したところ、鶏卵が含まれていることに気づきました。その後、急に嘔吐しました。
会話は問題なく可能で、顔色も悪くありません。

適切な体位は？

1

体と顔を横に向ける。



2

仰向けにして足を高くする。



3

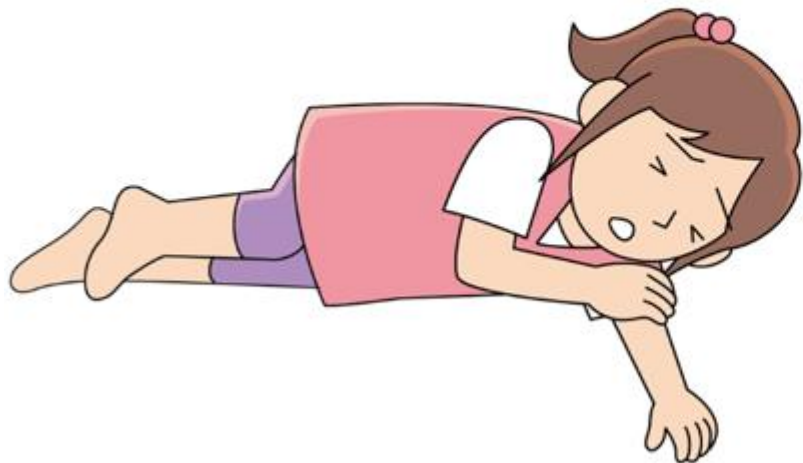
上半身を起こす。



正解は **1** : 体と顔を横に向ける。

鶏卵アレルギーの症状の一つとして、吐き気、嘔吐といった消化器症状が認められています。嘔吐の際に注意すべきことは、まず、嘔吐物が気道に入って肺炎や窒息を起こすことを防ぐことです。そのため、嘔吐物が横に流れ出るように、体と顔を横に向けることが重要です。

嘔吐があるときの体位



- アナフィラキシーショックで
血圧が低下しているような状況では
仰向けにて足を高くします。



- ぜん息の症状などで呼吸が
苦しいときは上半身を起こします。



初期対応に関するクイズ②

牛乳アレルギーと診断されている男児。以前にアナフィラキシー症状により入院したことがあります。病院から、抗ヒスタミン薬と気管支拡張薬、およびアドレナリン自己注射薬が処方されています。

自宅で夕食をとっているときに、誤って乳製品の入ったパンを食べてしまいました。しばらくしてから軽い咳が出始め、ひどくお腹を痛がりだしました。さらに数分後には、ゼーゼーと呼吸が荒くなってきています。意識はしっかりとしています。

救急車の要請とともに、自宅ですぐに行う処置で適切なものは？

1

抗ヒスタミン薬を
内服させる。



3

アドレナリン
自己注射薬を
使用する。



2

気管支拡張薬を
吸入させる。



4

仰向けにして
足を高くする。



正解は **3** : アドレナリン自己注射薬を使用する。

過去にアナフィラキシー症状を起こして入院したことがあり、今回も乳製品の誤食によってアレルギー症状が急速に進んでいます。このような場合には、抗ヒスタミン薬の内服や気管支拡張薬の吸入よりも、まず、アドレナリンの自己注射を行う必要があります。なお、今回ゼーゼーと呼吸が苦しそうでもあるものの、意識はしっかりとしており、呼吸を楽にするためには上体を起こす必要があります。

消化器 の症状	 繰り返して吐き続ける	 持続する強い（がまんできない）腹痛				
呼吸器 の症状	 のどや胸が 締め付けられる	 ケン ケン 犬が吠える ような咳	 ゼー ゼー ゼーゼー する呼吸	 ア ア ア 声がかすれる	 ゴホ ゴホ ゴホ 持続する 強い咳込み	 息がしにくい
全身 の症状	 唇や爪が青白い	 尿や便を漏らす	 ぐったりしている	 脈が触れにくい 不規則	 意識がもうろうと している	



初期対応に関するクイズ③

アドレナリン自己注射薬はどの部位に、どのように使用しますか？

1

臀部に
勢いをつけて
垂直に打つ。



3

ふとももの外側に
勢いをつけて
垂直に打つ。



2

上腕に強く
押さえるように
垂直に打つ。



4

ふとももの外側に強く
押さえるように
垂直に打つ。

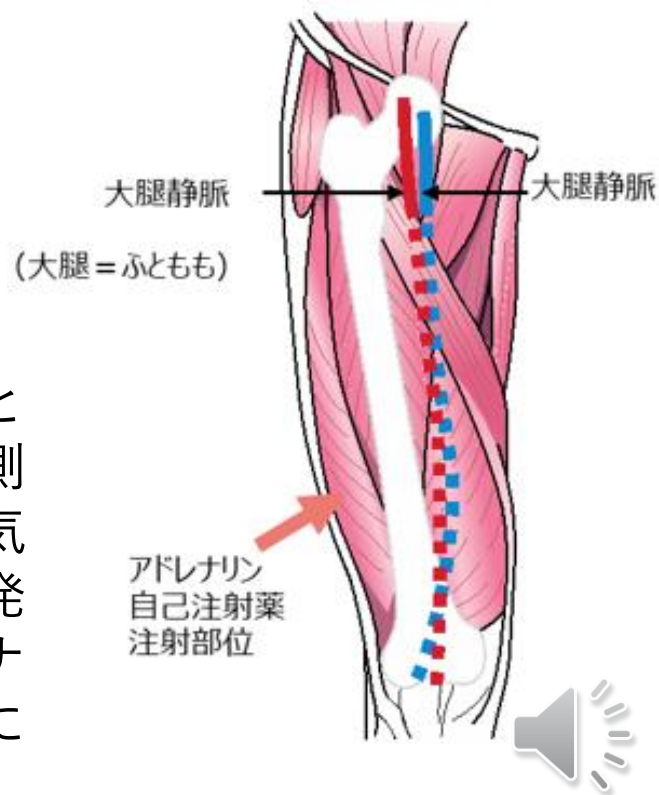


正解は **4** : ふとももの外側に強く押さえるように 垂直に打つ。

アドレナリン自己注射薬は筋肉注射であり、筋肉量が多いふとももの真ん中からやや外側のあたりに、垂直に、強く押さえつけるように使用します。勢いよく打つと、打つ場所から外れてしまう可能性が高くなり、また、針による破傷のリスクも高くなるので危険です。



ふとももの内側は大きな血管が通っており、ふともも前面も骨が近くににあります。ふとももの内側や前面に注射すると、薬剤が血管や骨に入り一気に血流に乗って全身に巡るため、強い副作用が発生する可能性があります。したがって、アドレナリン自己注射薬はふともも真ん中前外側の筋肉に確実に注射することが大切です。



緊急時対応について



アレルギー対応カード

ほけんしつ
保健室の
せんせい
先生を

よ
呼びに行く

となりの
クラスの
せんせい
先生を

よ
呼びに行く

しょくいんしつ
職員室の
せんせい
先生を

よ
呼びに行く



緊急性が高いアレルギー症状への対応

チームワークが大切

- ・ 救急車を要請（119番通報）
- ・ ただちにエピペン®を使用
- ・ 反応がなく呼吸がなければ、心肺蘇(そ)生を行う → AEDの使用
- ・ その場で安静にする **立たせたり、歩かせたりしない!**

<安静を保つ体位>

関係者が教室に
集まって対応

ぐったり、
意識もうろうの場合



血圧が低下している可能性があるため、あお向けで足を15~30cm高くする

吐き気、おう吐がある場合



おう吐物による窒息を防ぐため、体と顔を横に向ける

呼吸が苦しく
あお向けになれない場合

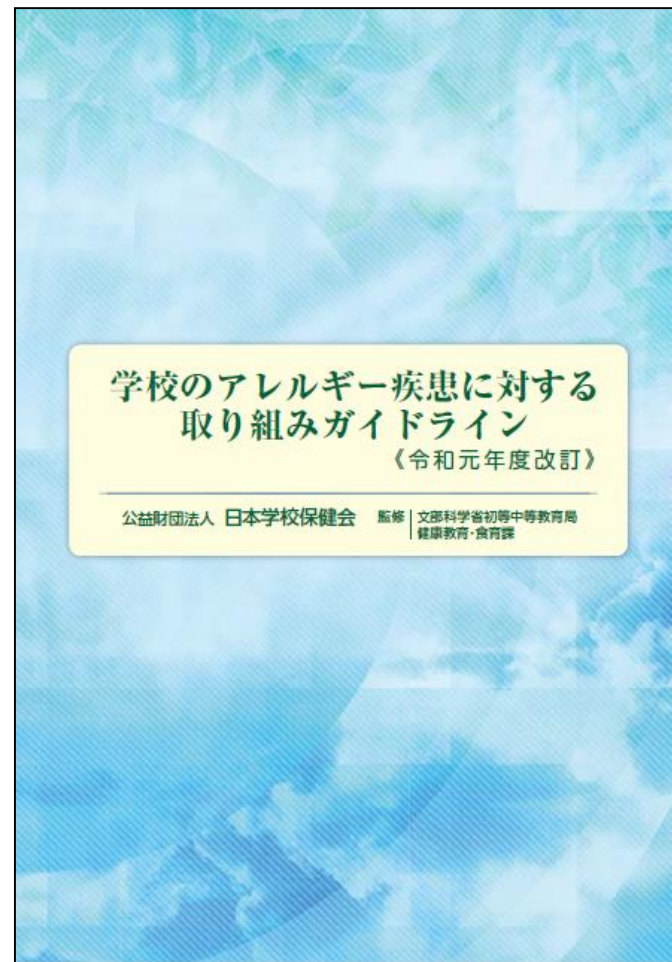
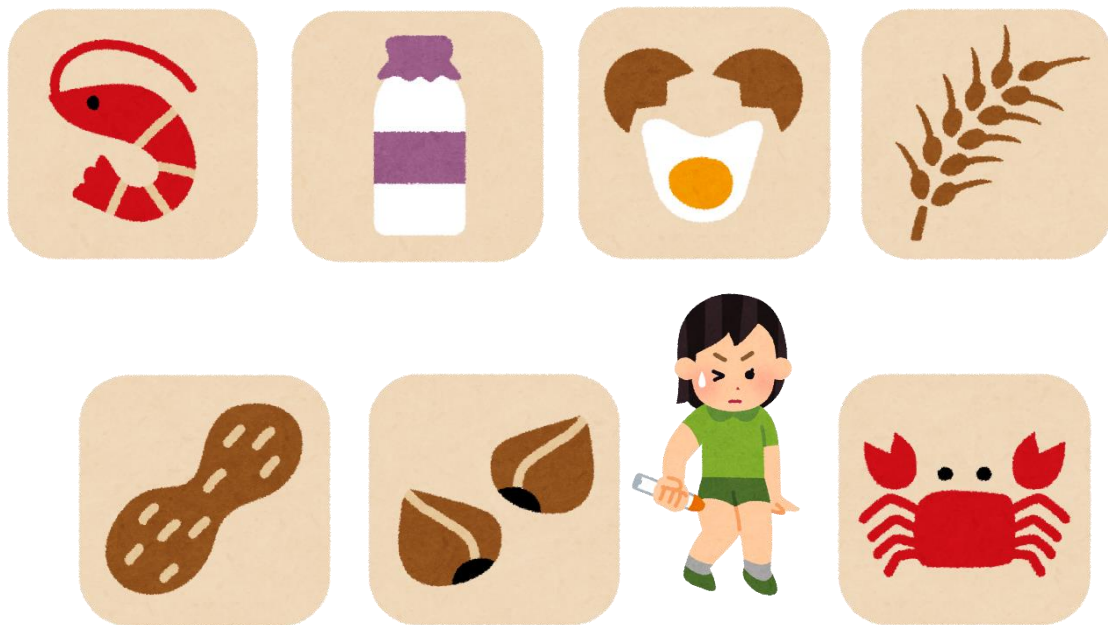


呼吸を楽にするため、上半身を起こし後によりかからせる

- ・ その場で救急隊を待つ



アレルギー対応に関する参考資料



対応の3つの柱

- 食物アレルギーを有する児童生徒等の正確な情報の把握と共有
- 学校全体で行う日常の取り組みと事故予防
- 緊急時対応

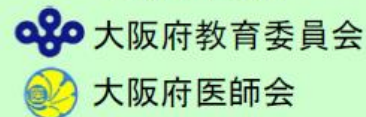
<https://www.pref.osaka.lg.jp/hokentaiku/hoken/gaidorain.html>



学校における
食物アレルギー対応ガイドライン

《令和3年度改訂》

令和4年3月



緊急の対応を要する事態は、

学級担任や養護教諭の前で起こるとは限らない！

学校全体として取り組む体制が必要！！



食物アレルギー緊急時対応マニュアル

I 救急車要請（119番通報）のポイント

◆あわてず、ゆっくり、正確に情報を伝える

①救急であることを伝える

119番、
火事ですか？
救急ですか？

救急です

②救急車に来てほしい住所を伝える

住所は
どこですか？

住所、学校名をあらかじめ記載しておく
(学校名)
(住所)
(電話番号)

〇〇市
〇丁目〇番地
です

③「いつ、誰が、どうして、現在どのような状態なのか」を伝える

どうしましたか？

エビバン®の処方やエビバン®の使用及び内服薬服用の有無を
伝える
(かかりつけの医療機関名)

5歳の
子がおやつを
食べたあと、
呼吸が苦しいと
言っています

④通報している人の名前と連絡先を伝える

あなたの名前の
連絡先を教えてください

119番通報後にも連絡可能な電話番号を伝える
※学校への進入経路について、具体的に伝える。

私の名前は
〇×〇美です
電話番号は

※向かっている救急隊から、その他の状態確認等のため電話がかかってくることもある
・通報時に伝えた連絡先の電話は、常につながるようにしておく
・その際、救急隊が到着するまでの応急手当の方法などが必要に応じて聞く

P.24 I 救急車要請のポイント

II 心肺蘇生とAEDの手順

救急処置は「一分一秒」を
争います！
ためらわずに行動を！

①反応の確認
肩を叩いて大声で呼びかける
意識覚醒では目を叩いて呼びかける

②通報
119番通報とAEDの手順を調べ

③呼吸の確認
10秒以内で胸とお腹の動きを見る

- ・開校非校
- ・児童施設
- ・自治的な施設
- ・暴化したらだもに心肺蘇生を開始

普段どおりの呼吸をしていない
または
わからない

④ただちに胸骨圧迫！
強く・速く・絶え間なく

人工呼吸

人工呼吸の設備と意識があれば
胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を
組み合わせる

⑤AEDのメッセージに従う
電撃ボタンを押す
パッドを貼り、AEDの音読指示に従う

救急隊に引継ぐまで、
または傷病者に普段どおりの呼吸や
目的のある仕草が認められるまで
続ける

P.25 II 心肺蘇生とAEDの手順



III アレルギー症状への対応手順

何らかのアレルギー症状がある
(食物の異臭が疑われる)

原因食物を食べた
(可能性を含む)

原因食物に触れた
(可能性を含む)

呼びかけに対して反応がなく、呼吸がなければ**心肺蘇生を行う** (8分間)

緊急性が高いアレルギー症状はあるか？

全身の症状	呼吸器の症状	消化器の症状
<input type="checkbox"/> ぐったり <input type="checkbox"/> 意識もうろう <input type="checkbox"/> 尿や便をもらす <input type="checkbox"/> 顔が腫れにくいまたは不規則 <input type="checkbox"/> 唇や爪が青白い	<input type="checkbox"/> のどや胸がしめつけられる <input type="checkbox"/> 声がかすめる <input type="checkbox"/> 犬が吠えるような咳 <input type="checkbox"/> 息がしにくい <input type="checkbox"/> 持続する強い咳き込み <input type="checkbox"/> ゼーゼーする呼吸 <small>(呼吸と反応できない場合を含む)</small>	<input type="checkbox"/> 持続する (救済できない) <input type="checkbox"/> 強いお腹の痛み <input type="checkbox"/> 繰り返し吐き続ける

1つでも当てはまる場合

緊急性が高いアレルギー症状への対応

- ①ただちにエピペン®を使用する
- ②救急車を要請する (119番通報)
- ③その場で安静にする (下記の安静を保つ体位参照)
- ④その場で救急隊を待つ
- ⑤可能なら内服薬を飲ませる

反応がなく呼吸がない

↓

心肺蘇生を行う

エピペン®が2本以上ある場合 (呼びかけに対する反応がある) エピペン®を使用し 10~15分後に症状の改善が見られない場合、次のエピペン®を使用する

5分以内に判断する

改善を認める ()

↓

安静にできる場所へ移動する

↓

少なくとも5分ごとに症状を観察する
症状がエスカレートに似て判断し対応する
救急車を呼び、救急隊の到着に待機する

ない場合

安静を保つ体位

<p>ぐったり・意識もうろうの場合</p>  <p>血圧が低下している可能性があるため仰向けで足を15~30cm高くする</p>	<p>嘔吐気・嘔吐がある場合</p>  <p>嘔吐物による窒息を防ぐため顔と体を横に向ける</p>	<p>呼吸が苦しく仰向けになれない場合</p>  <p>呼吸を楽にするため上半身を起こし後ろに寄りかからせる</p>
---	--	---


IV エピペン®の使い方

今それぞれの動作を声に出し、確認しながら行う
 今注射をするときには、必ず子どもに声をかける


- ①ケースから取り出す



ケースのカバーキャップを開けエピペン®を取り出す
- ②しっかり握る



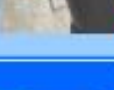
オレンジ色のニードルカバーを下に向け、グーで握る「グー」で握る!
- ③安全キャップをはずす




古い安全キャップをはずす
- ④太ももに注射する



太ももの外側にエピペン®の先端 (オレンジ色の部分) を強く当て、「おチツ」と音がするまで強く押し当てそのまま5秒数える
注射した後すぐに放さない!
押しつけたまま5秒数える!
- ⑤確認する



エピペン®を太ももから離し、オレンジ色のニードルカバーが伸びているか確認する。
 伸びていない場合は「えに戻る」
- ⑥マッサージする



打った部位を10秒間マッサージする

介助者がいる場合



介助者は、子どもの太ももの付け根と膝をしっかりと押さえ、動かさないように固定する


注射する部位

- 太ももの上から、打つことができる
- 太ももの外側の筋肉に注射する (真ん中 (A) よりやや外側で、かつ太ももの付け根と膝の間の部分)

外向けの場合



内側の場合





V 症状チェックシート

◆ 痛ったらエビベン®を使用する
 ◆ 症状は急悪化する可能性がある
 ◆ 少なくとも5分ごとに症状を注意深く観察する
 ◆ □ の症状が1つでもあてはまる場合、エビベン®を使用する
 (内服薬を飲んだ後にエビベン®を使用しても問題ない)

全身の症状	<input type="checkbox"/> くっつき <input type="checkbox"/> 意識もうろう <input type="checkbox"/> 尿や便をもらす <input type="checkbox"/> 顔が熱にくいまたは不規則 <input type="checkbox"/> 唇や爪が青白い		
呼吸器の症状	<input type="checkbox"/> のどや胸がしめ付けられる <input type="checkbox"/> 声がかすれる <input type="checkbox"/> 犬が吠えるような咳 <input type="checkbox"/> 息がしにくい <input type="checkbox"/> 連続する強い咳き込み <input type="checkbox"/> ゼーゼーする呼吸	<input type="checkbox"/> 数回の軽い咳	
消化器の症状	<input type="checkbox"/> 連続する強い(我慢できない)お腹の痛み <input type="checkbox"/> 繰り返して吐き続ける	<input type="checkbox"/> 中程度のお腹の痛み <input type="checkbox"/> 1～2回の嘔吐 <input type="checkbox"/> 1～2回の下痢	<input type="checkbox"/> 軽い(我慢できる)お腹の痛み <input type="checkbox"/> 吐き気
目・口・鼻・顔の症状	<input type="checkbox"/> 顔全体の腫れ <input type="checkbox"/> まぶたの腫れ	<input type="checkbox"/> 目のかゆみ、充血 <input type="checkbox"/> 口の中の違和感、唇の腫れ <input type="checkbox"/> くしゃみ、鼻水、鼻づまり	
皮膚の症状	<input type="checkbox"/> 強いかゆみ <input type="checkbox"/> 全身に広がるじんましん <input type="checkbox"/> 全身が真っ赤	<input type="checkbox"/> 軽度のかゆみ <input type="checkbox"/> 数個のじんましん <input type="checkbox"/> 部分的な赤み	

上記の症状が1つでもあてはまる場合

ただちに救急車で
医療機関へ搬送

1つでもあてはまる場合

速やかに
医療機関を受診

1つでもあてはまる場合

安静にし
速やかに医療機関を受診

①ただちにエビベン®を使用
 ②救急車を要請 (119番)
 ③その場で安静を保つ
 ④その場で救急隊を待つ
 ⑤可能ななら内服薬を飲ませる

①内服薬を飲ませエビベン®を準備
 ②速やかに医療機関を受診
 救急車の要請も考慮
 ③医療機関に到着するまで少なくとも5分ごとに症状の変化を観察 □ の症状が1つでもあてはまる場合、エビベン®を使用

①内服薬を飲ませる
 ②少なくとも1時間は、5分ごとに症状の変化を観察し、症状の改善がみられない場合は医療機関を受診

P.28 V 症状チェックシート



P.29 VI 学校での役割分担

主な改定のポイント

- 様式追加
- 学校生活管理指導表の費用
- 心肺蘇生とAEDの手順
- 除去していたものを解除するときの注意
- その他、飛行機での長時間移動・海外渡航をする場合の対応



様式追加

学校生活管理指導表（P56～P62）

- 活用のしおり、学校生活管理指導表の留意点（教師用）を追加

除去解除申請書（P11・P54）

- 除去食申請を取り下げる際の届けの様式を追加

校外活動における食物アレルギーチェック表（P53）

- 施設への確認事項や校内での確認事項を記載した様式を追加

記入例

- 事故報告書や個別の取組みプランの記入例を追加



学校生活管理指導表の保険適用

学校生活管理指導表のうち
食物アレルギー、アナフィラキシーについては
診療報酬の対象（保険適用）となった
（令和4年4月12日通知）



保険適用とならない場合

アレルギー疾患に係る学校生活管理指導表のうち
気管支ぜん息等のアレルギー疾患及び心疾患・腎
疾患はこれまで通り保険適用とならないこと。

主治医と学校医が同一の場合は診療情報提供の対
象とならないこと。

学校医へ学校生活管理指導表の内容を必ず共有
すること。なお、共有方法は問わない。



アナフィラキシー (あり・なし)
 食物アレルギー (あり・なし)

病型・治療	
Ⅰ 食物アレルギー病型 (食物アレルギーありの場合のみ記載) 1. 即時型 2. 口腔アレルギー症候群 3. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー	
Ⅱ アナフィラキシー病型 (アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載) 1. 食物 (原因) 2. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー) 3. 運動誘発アナフィラキシー) 4. 昆虫 () 5. 医薬品 () 6. その他 ()	
Ⅲ 原因食物・除去根拠	該当する食品の番号に○をし、かつ〈 〉内に除去根拠を記載 1. 鶏卵 〈 〉 2. 牛乳・乳製品 〈 〉 3. 小麦 〈 〉 4. ソバ 〈 〉 5. ピーナッツ 〈 〉 6. 甲殻類 〈 〉 (すべて・エビ・カニ) 7. 木の実類 〈 〉 (すべて・クルミ・カシュー・アーモンド) 8. 果物類 〈 〉 () 9. 魚類 〈 〉 () 10. 肉類 〈 〉 () 11. その他1 〈 〉 () 12. その他2 〈 〉 ()
Ⅳ 緊急時に備えた処方薬 1. 内服薬 (抗ヒスタミン薬、ステロイド薬) 2. アドレナリン自己注射薬 (「エビペン®」) 3. その他 ()	

【除去根拠】 該当するものを全てを〈 〉内に記載
 ① 明らかな症状の既往 ② 食物経口負荷試験陽性
 ③ IgE抗体等検査結果陽性 ④ 未摂取

学校生活上の留意点
Ⅰ 給食 1. 管理不要 2. 管理必要
Ⅱ 食物・食材を扱う授業・活動 1. 管理不要 2. 管理必要
Ⅲ 運動 (体育・部活動等) 1. 管理不要 2. 管理必要
Ⅳ 宿泊を伴う校外活動 1. 管理不要 2. 管理必要
Ⅴ 原因食物を除去する場合により厳しい除去が必要なもの ※本欄に○がついた場合、該当する食品を使用した料理については、給食対応が困難となる場合があります。 鶏卵：卵殻カルシウム 牛乳：乳糖・乳清焼成カルシウム 小麦：醤油・酢・味噌 大豆：大豆油・醤油・味噌 ゴマ：ゴマ油 魚類：かつおだし・いりこだし・魚醤 肉類：エキス
Ⅵ その他の配慮・管理事項(自由記述)



心肺蘇生とAEDの手順

- 普段どおりの呼吸をしているか
『わからない』場合、胸骨圧迫を行うよう改正

P24～29に記載の

「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」の
出典は変わっているが、
内容の変更は上記胸骨圧迫の部分のみ



飛行機での長時間移動・ 海外渡航をする場合の対応

- ピーナッツアレルギーの児童
- 新幹線で移動中、友人からもらったお菓子を喫食
- 喫食直後に誤食に気づく
- 口腔及び腹部の気持ち悪さ、嘔吐、発熱、くしゃみ、鼻水等の症状
- 現地に到着、症状出現から2時間後に医療機関を受診



事故防止のために

- お菓子（や食事）の交換はしない
- 飛行機や新幹線の中ではお菓子の喫食は控える

緊急時に備え、対応を検討しておく



[トップ](#)[くらし・住まい
まちづくり](#)[人権・男女
共同参画](#)[福祉・
子育て](#)[教育・学校・
青少年](#)[健康・医療](#)[商工・労働](#)[環境・
リサイクル](#)[農林・
水産業](#)[都市魅力・
観光・文化](#)[都市計画・
都市整備](#)[防災・安全・
危機管理](#)[府政運営・
市町村](#)

[ホーム](#) > [教育・学校・青少年](#) > [学校の保健・体育・給食](#) > [学校保健・学校安全](#) > [学校における食物アレルギー対応ガイドライン](#) [はじめの方へ](#) | [サイトマップ](#)

学校における食物アレルギー対応ガイドライン



更新日：2022年4月21日

本府では、食物アレルギーを有する児童生徒等が安心して学校生活を送ることを対応の基本とし、平成29年2月に「学校における食物アレルギー対応ガイドライン」を作成し、管理職をはじめとした全ての教職員、調理場及び教育委員会関係者、医療関係者、消防関係者等が相互に連携し、組織的に対応できるよう依頼してまいりました。

この度、「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン《令和元年度改訂》」（令和2年3月 公益財団法人日本学校保健会）が発行されたことを受け、大阪府医師会とともに本ガイドラインを改訂しました。引き続き、市町村教育委員会や各学校、調理場においては、学校組織として事故防止に努め、事故が発生した際、適切に対応できるよう体制を整備するにあたり、本ガイドラインをご活用いただくようよろしくお願いいたします。

⇒全体版はこちら [学校における食物アレルギー対応ガイドライン《令和3年度改訂》](#) [PDFファイル/6.84MB]

◇改訂のポイント [\[PDFファイル/267KB\]](#)

◇様式集

<https://www.pref.osaka.lg.jp/hokentaiku/hoken/gaidorain.html>



事故事例紹介



事故が起きた原因

- 献立表の確認ができていなかった
- 食物依存性運動誘発アナフィラキシー
- 新規発症
 - 除去解除後の発症
- 食物アレルギーを申告していなかった



献立表の確認ができていなかった

- 乳アレルギーの児童
- 当日、通常より早く給食の準備が完了
- 担任は他の児童への指導中で献立表での確認を失念
- 乳の入ったカレーが配膳され、誤食

どうすれば…？



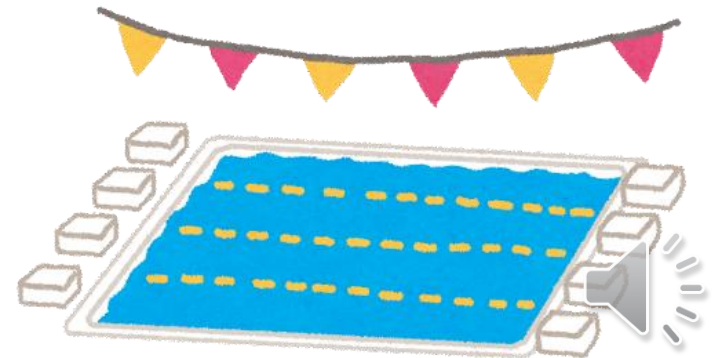
こんな時によく起きる！

- 年度初め、学期初め、新入生
→ 情報共有ができていなかった等



- 通常と異なる時間割り
→ 2年ぶりのプールの授業でバタバタしていた

- 担任が不在だった



事故防止のために

- 担任（養護教諭・栄養教諭）任せにしない
⇒ 配膳前、喫食前には近隣のクラスの担任、
管理職等複数で献立表の確認する



食物依存性運動誘発 アナフィラキシー

- 食物アレルギーの既往歴なし
- 昼食喫食後、部活動前にキャッチボール
- 下痢、かゆみ、息苦しさ、咳等の症状出現
- 保健室にて全身のじんましん、目の充血等を確認
- 救急搬送
- 後日、アドレナリンの自己注射を処方される



このようにして起きる！



- 特定の食物を食べた後に運動することによってアナフィラキシーが誘発される
- 原因食物は小麦が約60%、甲殻類が約30%
- 頻度はまれ

*ただし、発症するとじんましんからはじまり、呼吸困難やショック症状のような重篤な症状に至ることがある

食べただけ

運動しただけ

食べる
+
運動

発症！



学校で新規発症することもある！

- 平成26年度の調査では学校給食で発症した食物アレルギーの**33.6%が新規発症**
- 初めてアナフィラキシーを起こすこともまれではない
- 食物依存性運動誘発アナフィラキシーも学校で初発することも多い疾患である



万が一、発症した際の体制を整えておく



事故防止のために

- 食物依存性運動誘発アナフィラキシーの既往歴がある場合は、食後2時間（4時間）運動は行わない

- ただし、新規発症もある！
⇒ 緊急時対応を整備し、
全教職員が対応できるように



食物アレルギーであることが 申告されていなかった

- りんごアレルギーの生徒
- 昼食時、サラダとりんごを喫食
- 口腔内および喉の腫れ、息苦しさが出現
- 最初は「食物アレルギーはない」と回答してたが、再度確認をすると、りんごを食べると口の周りが痒くなったり、喉のつまり感があったと回答



事故防止のために

- 学校生活管理指導表は提出されていないが、保健調査票等にはアレルギーがあると申告があった

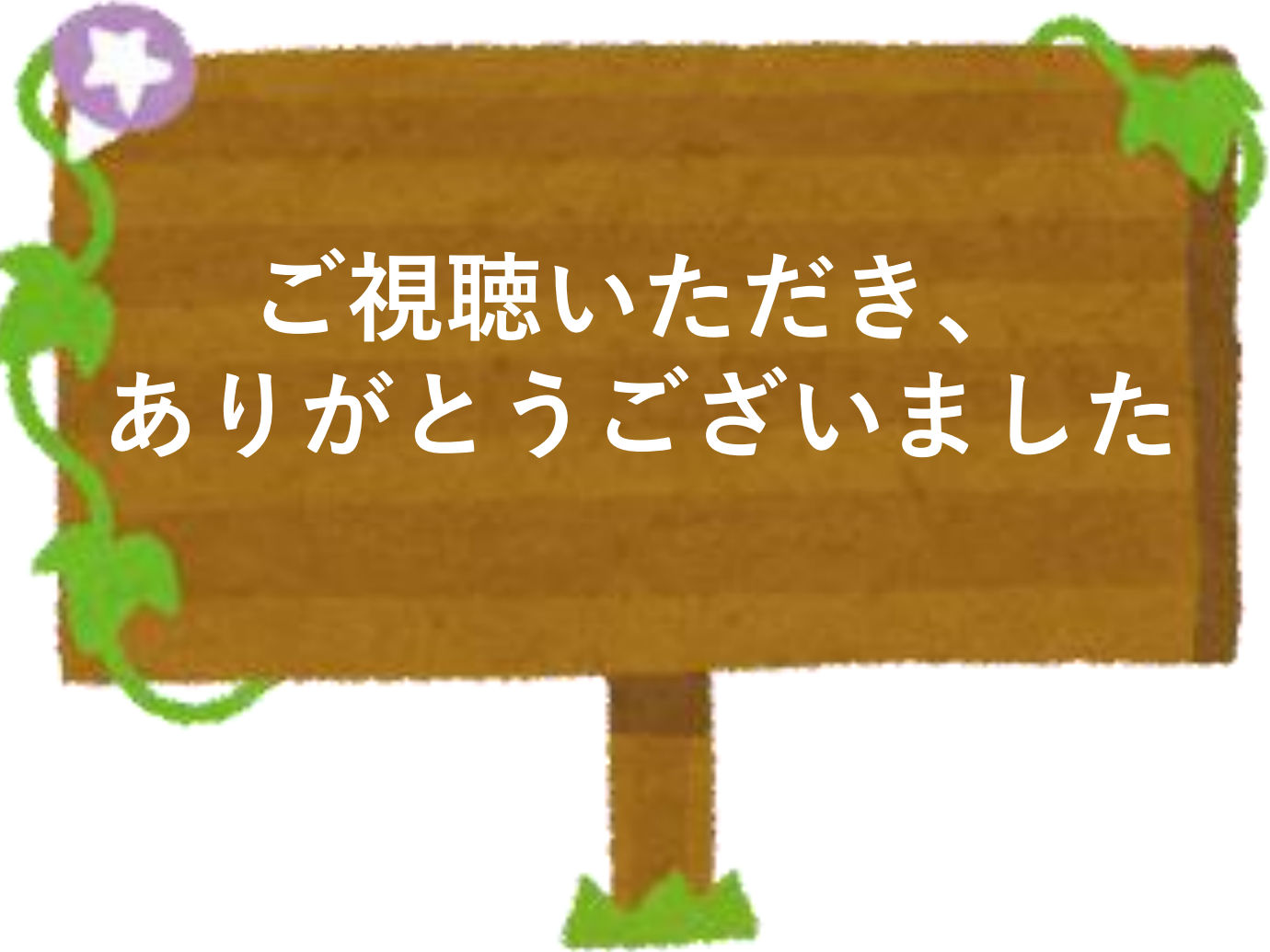
**児童生徒等の情報を
学校全体で共有**



さいごに

- アレルギー対応は組織で行う
 - 担任、養護教諭、栄養教諭に任せっきりにならないように
- 誰もが緊急時の対応をできるように





ご視聴いただき、
ありがとうございました

